

## 令和6年度 教職キャリア形成ガイダンス R7.1.8 (水)

教職を目指す高知大学の学部学生に対して、本専攻の現職派遣大学院生3名が講話を行いました。

**安田 直子 教諭 (小学校籍)** は、小学校教諭の実務の具体的な内容や魅力について、在籍校での具体的な授業実践や経験をもとに講話しました。

**赤崎 浩平 教諭 (中学校籍)** は、「中学校教員になって」というテーマで、教員を志したきっかけ、大切にしている考え方について、これまでの教員経験を基に話しました。

**小野 哲史 教諭 (高等学校籍)** は、高校教諭としての1日の流れや、生徒の特性に合わせた指導上の工夫等について、在籍校での経験を基に話しました。

(文責：小野 哲史)



### 質疑応答の内容

Q1. 生徒と会話のきっかけを作る・会話を続けるなどの時、どのようなことに気をつけていますか？

- 「元気がないな」と思ったらさりげなく隣に座って「どうしたか？」などと声をかけるようにする。
- 「今日あの子と話してないな」と思ったら、他愛ないことでも声をかけるようにする。
- 生徒の話している内容に興味を持ち、「それはどういうことなの？」と質問して話を広げたり、後にインターネットで調べて理解するように努めたりする。



Q2. 児童生徒や保護者からの勝手な発言に対する対応はどのようにしていますか？

- 相手が生徒であれば、「そのような言い方はいけない」と指導することもある。
- 相手が大人（保護者や同僚）であれば、言い方が悪くだけで、内容としては「一理ある」こともある。受け止めて改善に活かすということも時には必要。
- 保護者などから理不尽なことを言われる時もある。同僚に相談、共有するなどして、気持ちをコントロールすることも必要である。
- 言いたいことを好きに言う年頃でもある。腹が立つことがあっても、子どもと同じようなトーンで言い返すことがあってはならないので、アンガーマネジメントが必要なときもある。例えば、6秒間黙る。静かに「どうしたか？」と聞き返すなどする。

Q3. 特別支援学級などを、経験がない状態で持つことになったら、どのように対応すればよい？

- 先輩など心得がある方に聞くしかない。教材でも個別の指導計画でも、作って見てもらって、たくさん改善のアドバイスをもらうのがよい。特別支援の授業のやり方に精通すると、通常学級における授業にも活かすことができる。



Q4. 教科担任生で理科や音楽以外で指導したい教科はあるか。個人的には、小学校でも教科担任制が広く取り入れられることが望ましい。今の研究テーマは道徳教育なので、大学院で学んだ方法に則って全学年の授業をデザインしてみたいと思う。例えば、小学1年生でも考えて討論する道徳は可能であると思う。そのような形で、よい実践の方法を縦に広げていけたら、連続性を考慮に入れた授業展開ができるのではないかな。

